

田舎に泊まろう！YESか農か！！

活動の経緯

小山市はいちご、結城紬、渡良瀬遊水地の地域資源や観光資源は数多く存在するものの、これらの資源を交流人口増加に活かし切れていない。このような背景から、農村地域の所得向上と地域活性化を目指し、農畜産物や地域資源を活用した農家民宿を核としたグリーン・ツーリズム事業に取り組み始めた。小山市が中心となって推進し、小山市農泊推進協議会を立ち上げた。

活動の概要

民泊事業者の掘り起こし、体験プログラムの開発の支援を行い、農泊モニターツアーを企画・運営した。



農泊モニターツアーの際の着物体験



大学連携の農泊フィールドワーク

活動の成果、主な実績等

都圏を中心に30人規模1泊2日でのツアーを4回実施した。教育旅行による団体客の受入を通して、体験プログラムの検証、運営・受入態勢の構築・向上が図られた。

住居として住んでいる建物を民泊施設として開業、空き家であった建物を活用した例もあり、住宅宿泊事業法の届け出事業者は6軒に増加し、地域内で農泊の存在と期待感を高めることができたと言える。

農業体験・文化体験など体験を提供している事業者との連携、新たに体験を創出し、農泊モニターツアーなどで実際に提供し検証し、体験プログラムは10個を超えた。

大学連携による体験のプログラムの構築として、農家に宿泊・交流する一家族、農村全体に焦点を当てたケースを実施した。